

事後評価調書

I 事業概要																											
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）																										
地区名	十三沖永地区																										
事業箇所	津島市、愛西市、あま市																										
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の北西部に位置し、東側を二級河川蟹江川、西側を二級河川日光川に挟まれた都市近郊の低平な農村地域に位置している。</p> <p>地区内流域 923ha の排水は、洪水時には自然排水が困難なため、5か所に設置された排水機場（十三沖永越津排水機場、鹿伏兎排水機場、十三沖永神明排水機場、越津排水機場、葉苧東排水機場）により、二級河川日光川へ強制排水されている。</p> <p>しかし、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい排水機場（十三沖永越津排水機場と鹿伏兎排水機場を1か所に統合整備）を更新整備するとともに、幹線排水路も併せて改修することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的として、平成9年度からたん水防除事業十三沖永地区を実施し、平成22年度に完了した。</p>																										
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した排水機場を更新整備（2か所を1か所に統合整備）するとともに、幹線排水路も併せて改修し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。</p> <p>（計画基準雨量 336mm/3日、1/20年確率雨量）</p> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】</p> <p>該当なし。</p>																										
事業費	事業費		内訳																								
	23.2億円		■工事費 20.8億円、■用補費 1.1億円、■その他 1.3億円																								
事業期間	採択年度	平成9年度	着工年度	平成10年度	完成年度	平成22年度																					
事業内容	排水機場 1か所 排水路 L=1,537m																										
II 評価																											
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>施設共用後からの5年間で、最大3日連続雨量は平成24年9月30日～10月2日に163.0mm（最大1時間雨量54.0mm）を観測したが、農地や公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （蟹江観測所降雨データ）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>336.0mm</td> <td>109.5mm</td> <td>147.0mm</td> <td>163.0mm</td> <td>162.5mm</td> <td>110.0mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間降雨量）</td> <td>（54.1mm）</td> <td>（31.5mm）</td> <td>（20.0mm）</td> <td>（54.0mm）</td> <td>（34.0mm）</td> <td>（12.5mm）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>最大3日連続雨量は計画基準雨量以下であるが、最大1時間雨量では計画と同程度の雨量に対して湛水被害は発生しておらず、本事業は地域の農業経営の安定と県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>					区分	計画	H22	H23	H24	H25	H26	最大3日連続降雨量	336.0mm	109.5mm	147.0mm	163.0mm	162.5mm	110.0mm	（最大1時間降雨量）	（54.1mm）	（31.5mm）	（20.0mm）	（54.0mm）	（34.0mm）	（12.5mm）
	区分	計画	H22	H23	H24	H25	H26																				
最大3日連続降雨量	336.0mm	109.5mm	147.0mm	163.0mm	162.5mm	110.0mm																					
（最大1時間降雨量）	（54.1mm）	（31.5mm）	（20.0mm）	（54.0mm）	（34.0mm）	（12.5mm）																					
2) 副次目標の達成状況	該当なし																										

② 事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

		事業採択時 (H9)	再評価時 (H18)	実績 (H26)	備考
事業期間		H9~H13 (5年間)	H9~H20 (12年間)	H9~H22 (14年間)	
事業費 (億円)	工事費	25.0	23.2	20.8	
	用地補償費	0.4	1.3	1.1	
	その他	1.6	1.7	1.3	
	合計	27.0	26.2	23.2	
効果の 算定要因	流域面積	923ha	923ha	923ha	増減なし
	農地面積	418ha	418ha	384ha	減 34ha
	宅地等面積	505ha	505ha	539ha	増 34ha

【事業期間に対する評価】

たん水防除事業予算の削減等の影響を受け、再評価時(H18)より事業期間を2年延長したが、既存の排水機場や排水路を活かしながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による大きな影響はなかった。

【事業費に対する評価】

工事の入札結果(請負差額)等により、再評価時(H18)より事業費が3億円減で事業完了できた。

【効果の算定要因に対する評価】

再評価時(H18)と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。
排水機場及び排水路の整備により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。

③ 事業実施による環境の変化

本地区は、排水機場については敷地内で行う工事であり、影響範囲が限定的であったこと、また、工事施工にあたり低振動、低騒音の作業機械を使用するなど周辺環境に配慮したことから、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。

III 対応方針(案)

今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項は特になし。

IV 事業評価監視委員会の意見

十三沖永地区の対応方針(案)[改善措置等の必要なし]を了承する。

V 対応方針

改善措置等の必要なし